

■第5回ユニバーサルデザイン全国大会までの各種取り組み

◎嬉野温泉旅館の宿泊施設のユニバーサルデザイン化

佐賀県、嬉野市では、嬉野温泉の旅館の客室及びそれに付随する施設内部のユニバーサルデザイン化のための改修工事に要する経費の一部を補助する「平成21年度宿泊施設ユニバーサルデザイン化促進事業」を実施し、11旅館15客室がユニバーサルデザイン客室として整備されました。

なお、嬉野温泉では、既存のものと合わせると13旅館20客室のユニバーサルデザイン客室が整備されたことになり、全国一番のユニバーサルデザイン客室を保有している温泉地となりました。



ギャツジベッドを採用した客室



手すりを2箇所設置した浴槽



背もたれや可動式手すりを備えたトイレ



スロープを設置した部屋

◎さがUDフェスタ in 嬉野（第5回ユニバーサルデザイン全国大会プレ大会）

第5回ユニバーサルデザイン全国大会の開催に向けて、平成22年3月26日に嬉野市公会堂において「さがUDフェスタ in 嬉野（第5回ユニバーサルデザイン全国大会プレ大会）」を開催しました。

当大会では、各種表彰式とともに、（株）ユーディットの関根千佳代表取締役社長のコーディネートによる「嬉野流UDとは？」をテーマとしたトークセッションを行いました。

また、第5回ユニバーサルデザイン全国大会推進委員会の大草秀幸委員長によるプレゼンテーションとともに、全国大会に向けて嬉野市内の20の関係団体による「全国大会PR隊」の結団式も行われました。



主催者挨拶



トークセッション



全国大会PR隊結団式

◎パソコン要約筆記講習会

佐賀商業高校、嬉野高校の生徒を対象に、発表者の発言や会話の内容を要約してパソコンに打ち込み、同時にスクリーンに表示する「要約筆記」の技術の修得を目的とした「パソコン要約筆記講習会」を開催しました。

なお、全国大会2日目のまちづくり分科会、ものづくり分科会において、佐賀商業高校、嬉野高校の生徒にパソコン要約筆記を行っていただきました。



まちづくり分科会での要約筆記



右側スクリーンに要約筆記内容を表示

◎ひとにやさしい施設の認定

嬉野市では、平成22年10月7日、嬉野市中央公民館において、高齢者や障害者等にも利用しやすいように整備された旅館や公共施設の16施設に対し「ひとにやさしい施設」として認定されました。

また、嬉野市では、ひとにやさしい施設づくりを象徴するような親しみやすいロゴマークを公募し、約380点の中から統一マークを決定されました。



ひとにやさしい施設「シーボルトの湯」



ひとにやさしい施設認定証

◎「佐賀は、ユニバーサルデザイン」キックオフイベント

平成22年10月27日に佐賀県庁県民ホールにおいて、ユニバーサルデザインの普及啓発を目的とした「佐賀は、ユニバーサルデザイン」キックオフイベントを開催しました。

このイベントでは、佐賀県ユニバーサルデザインイメージソングを作っていただいた「う～みさん」によるミニライブ、全国大会に向けて嬉野市商工会、県栄養士会、西九州大学等で考案中の誰もが食べやすいユニバーサルデザイン弁当の試食等をしていただきました。



う～みさんのミニライブ



イベントの全景



考案中のユニバーサルデザイン弁当

◎食のユニバーサルデザイン講習会

平成22年11月1日に華翠苑において、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた食のおもてなし向上を図ることを目的とした「食のユニバーサルデザイン講習会」を開催しました。

この講習会では、元東京グランドホテル総料理長の上原清氏をお招きし「ユニバーサルデザイン料理開発の一環としての精進料理教室」をテーマとした講話等を行っていただきました。



上原氏による講話



講習会の全景



参加者との質疑応答

◎嬉野温泉旅館における食のユニバーサルデザインに向けた試食会・意見交換会

平成22年11月9日に和多屋別荘コットンクラブにおいて、子どもから高齢者、疾病をお持ちの方まで、誰もが安心して、美味しく楽しめるような食事の提供を目的とした「嬉野温泉旅館における食のユニバーサルデザインに向けた試食会・意見交換会」を開催しました。

当日は、嬉野温泉の各旅館において、「食のユニバーサルデザイン講習会」を踏まえて考案されたレシピを発表していただくとともに、試食会では意見・情報交換が行われました。



各旅館からのレシピの発表



各旅館で考案されたレシピ

◎おもてなしのユニバーサルデザイン講習会

平成22年11月10日に和楽園において、ユニバーサルデザインの視点を踏まえた接遇面のおもてなし向上を図ることを目的とした「おもてなしのユニバーサルデザイン講習会」を開催しました。

この講習会では、旅のよろこび（株）代表取締役の宮川和夫氏をお招きし「おもてなしのユニバーサルデザイン～高齢の方や障害のある方へのおもてなし～」をテーマとした講話等を行っていただきました。



宮川氏による講話



講習会の全景

◎嬉野市公会堂のユニバーサルデザイン化

嬉野市公会堂は、昭和32年に竣工して以来、これまでトイレや手すりなど部分的にユニバーサルデザイン化が進められてきましたが、平成22年度に全国大会の開催に合わせて、車いすのままステージに登壇できる電動リフトの設置、2階観客席の配置を工夫して座席を大きくするなどユニバーサルデザインの視点で全面的な改修が行われました。



電動リフトの設置



スロープの設置



2階観客席の改修

◎ユニバーサルデザインサインボードの掲出

嬉野温泉商店街では、平成22年12月上旬から、嬉野市の協力の下、各店舗の軒先に「ユニバーサルデザインサインボード」を掲出していただきました。

このサインボードは、県産の間伐材が使用され、「湯のまちユニバーサルデザインのお店」のロゴとともに、各店舗で可能なサービスが書き添えられています。



嬉野温泉商店街に掲出されている様々なユニバーサルデザインサインボード

◎スタッフ・ボランティア研修会

平成22年12月7日、14日の2日間、嬉野市体育館において、全国大会に参加される多様な方々に適切な対応をしていただくことを目的とした「スタッフ・ボランティア研修会」を開催しました。

この研修会では、(社)公開経営指導協会の小林晶子講師、田中啓一講師、及び佐賀大学医学部の松尾清美准教授をお招きし、高齢者疑似体験やアイマスク体験、白杖体験、車いす体験の演習等を通じて、スタッフ・ボランティアの方々に適切な対応方法を習得していただきました。



車いす実践演習



アイマスク実践演習

◎嬉野温泉のユニバーサルデザイン客室を利用したモニター旅行

平成22年12月8日、9日の1泊2日、嬉野温泉で整備されているユニバーサルデザイン客室を利用いただき、アンケートや意見交換会を通じて、利用者満足度の向上を目指すことを目的とした「嬉野温泉のユニバーサルデザイン客室を利用したモニター旅行」を開催しました。



意見交換会の全景



参加者の意見発表

◎ユニバーサルデザイントーク&少年サッカー教室

嬉野市では、平成22年12月11日に嬉野市みゆき公園において、佐賀県プロサッカー協議会の協力の下、全国大会のプレイベントとしてサガン鳥栖を迎えての「ユニバーサルデザイントーク&少年サッカー教室」を開催されました。

少年サッカー教室に先立ち、サガン鳥栖の赤星、柳沢両選手と谷口市長を交えてユニバーサルデザインについて語っていただきました。



ユニバーサルデザイントーク



少年サッカー教室

◎ひとにやさしいデザイン陶磁器の開発

嬉野市と肥前吉田焼窯元協同組合では、平成21年度の公募で最優秀となったアイデアをもとに「ひとにやさしいデザイン陶磁器」を開発されました。この陶磁器の特徴は、ひじ等でプレート部分を押さえて食器全体を固定でき、お椀部分は掬いやすいような曲面を付けており、プレート部分とお椀部分は片手でも着脱可能になっています。

なお、この陶磁器は、全国大会に事前に参加を申し込まれた方々等に、記念品として配布しました。



ひとにやさしいデザイン陶磁器